

要請番号 (JL00623B09)

募集終了

3



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|--------|----------|----------|------|----|------|-----------------------|
| インドネシア | G117 水球 | 20～45歳のみ | 個別 | 新規 | 2年 | ・2024/2・2024/3・2025/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

青年スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

全水泳連盟ジョグジャカルタ特別州支部

3) 任地 (ジョグジャカルタ特別州スレマン県) JICA事務所の所在地 (中央ジャカルタ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約3.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

青年スポーツ省は青年教育(体育教育含む)を総括し、政策を策定・実施する機関であり、学校体育教育の充実、ジュニア選手層の拡充等、教育的側面から体育の振興を図っている。

配属先は、ジャワ島中部に位置するジョグジャカルタ特別州にあり、水泳、水球、アーティスティックスイミング、飛び込み、オープンウォータースイミング等の水泳競技に関わる選手育成の他、競技のレベルアップに向けた効果的なプログラムの策定を行う役割も担っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先である水泳連盟はインドネシア国体や国際大会に向けて、選手の育成、強化を図っている。水球競技においては、2021年の国体では、女子は第3位の好成績を収めたが、男子はスポーツ委員会が定める参加水準を満たすことができず、出場ができなかった。近年、水泳競技から転向して水球を始める選手が増加しているが、水球競技の経験が浅いことや、選手を指導できるコーチが少ないことが課題となっている。配属先は日本の水球の競技レベルや日本人選手のスポーツマンシップや礼儀正しさを高く評価しており、協力隊員からの支援が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚コーチと協力して、以下の活動を行う。

1. 選手のレベルに応じた身体能力、技術、メンタル面強化に関する指導

2. 選手達のレベルアップに向けたトレーニングプログラム、練習メニューの考案

※選手の練習時間は平日の夕方と日曜の午前中だが、活動時間は配属先と相談の上決定。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

50M×8レーン、水深(端1.2M、中央地点2.3M)、ストップウォッチ、ペースクロック、トレーニング室、ポロキャップ、ボール(MIKASA)、ゴール

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

男性コーチ1名(指導経験約10年以上、大卒)

女性コーチ1名(指導経験約10年以上、大卒)

活動対象者:

男女選手約37名(15～23歳・競技経験1～8年)

5) 活動使用言語

インドネシア語

6) 生活使用言語

インドネシア語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]: ()

[学歴]: (専門学校卒) 備考: 配属先の希望

[性別]: () 備考:

[経験]: (競技経験) 3年以上 備考: 選手の指導に必要

[参考情報]:

- ・指導経験があれば尚良い
- ・JSPO公認コーチ1以上があれば尚良い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (熱帯モンスーン気候) 気温: (25～35℃位) [電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可) [水源]: (安定)

【特記事項】

インドネシア側の査証手続きの都合により、他国の同隊次より赴任時期が1～2ヶ月程度遅れます。自衛隊勤務経験者及び海外における軍歴保持者には査証が発行されないため、本案件には応募いただくことができません。同配属先からはアーティスティックスイミング、水泳隊員の派遣も要請されています。

【類似職種】